

# 平成18年度 秋高連総会における講話録

平成18年7月12日（水）  
アルカディア市ヶ谷

講師 秋田県教育長 根岸 均

演題 秋田県内高校の再編・整備計画等について

一部 「秋田県の高校の現状」

二部 「秋田県高等学校再編整備計画について」

テキスト所望の場合は次にメールください。

[Toshimi1963@ybb.ne.jp](mailto:Toshimi1963@ybb.ne.jp)

## 一部「秋田県の高校の現状」

### 1 全般

秋田県には県立高校が52校、市立高校4校、私立高校が5校、約3万2千人の生徒がおり、一学年概ね一万人です。今春の卒業生の内、31.4%の卒業生が就職を希望し、その就職決定率は98.3%でありこれは全国トップである。

中途退学率の低さは17年度（公立校のみ集計）1.25%であり、また16年度の公立、私立を含めた結果は1.4%であった。この低さは全国トップであり、高校生活が健全に行われている証左であろう。

### 2 県民生徒だけの高校野球

昨年の全国高校野球で秋田商業高校がベスト8まで進出した。全国の野球有名高校が他県から優秀な生徒を招聘してチーム強化を図っている現下の情勢にあって、秋田県出身者だけでチーム構成している秋田商業高校の高校野球の原点を見失わないその姿勢は、高校野球連盟が高く評価し、また賞賛している。

### 3 パソコン教育と英語教育

パソコンについては① 文書処理ソフトを使用できる事、② 表計算ソフトを使用できる事、③ Eメールができる事、④ インターネット検索ができる事という四つの目標を掲げているが十分に達成しているといえる。

英語については例えばコンビニで買い物にきた外国人に対してそれ相応の対応ができる様望み、その具体的目標として実用英語技能検定2級取得を挙げているが、現実には道遠しの感が否めない。然し、実用英語技能検定3級取得者は全体の50パーセントに昇っている。TOEFLE、TOEIC等の評価方法もあるが、検定料金との関係から、当分実用英語技能検定で進めることとする。

### 4 卒業式と入学式

一時期、式典が色々な理由で正常に行われなかった時代がありましたが、最近は以前に比してとても厳粛になりました。反面、以前に比べ男子生徒が涙を見せるようになった事は特徴のひとつと言えます。女生徒の活躍は目を見張るものがあり共学学校52校中の10校にあって女生徒が生徒会長を務め、中には女生徒が応援団長をしている学校もあります。

### 5 個人情報との関係

世の中個人情報管理がとても厳しくなりましたが、その影響を受け入学者名簿の配布をしない学校もあります。

### 6 しつけ指導

「心、姿、振る舞い爽やか高校生」の標語をあるべき姿とし、懸命に指導を継

続しています。全般的に各高校とも校内でのしつけ教育は所要の成果を納めているが、校外ではまだまだ満足に行く状態には至っていない。各学校とも女生徒の服装特に超ミニスカートについては頭を抱えているのが現状。明確な打開策もせず、「流行は新しい流行に取って代る。」を待っている状態です。しかしながら、しつけ教育に学校職員が一丸となって取り組み劇的な変化、成果を納めているすばらしい高校が数校ある事も事実であると紹介された。

しつけの一環として質問に対して起立し回答する事を進めている。当たり前の事であるが他県でこのことに着目しているところは無い。全体としては6割の学校が成果を見ているが、各校の雰囲気、環境により取り組みは違っている。

## 二部「秋田県高等学校再編整備計画について」

本資料は第5次整備計画であり、これからも所要の修正追加がなされるものである。

資料：「秋田県高等学校再編整備計画について」

### 1 全県の中学校卒業生数と将来予測

平成元年には18,121人であったものが平成17年には11,692人、これは元年の3分の2に減少した事に成る。更に平成25年には9500人を割る状態が予測され、正に四半世紀で半数になってしまうと言うのが現状予測である。

因みに東京オリンピックの翌年、昭和40年の卒業生は39,000人であった。その後の生徒数減少に対しては学級数を減じることで対応してきた。少人数は教育しやすいと言うメリットは認められるがそれでも一学年4から8学級は必要である。ミニマムが一学年3学級で2学級になると「活力」が激減、高校の体をなさなくなる。

近年になりこの学級数減対策では対応困難なところに来てしまった。従って3学級維持を根底に校舎の老朽化などを勘案して学校数を減ずる事にした。

大曲、本荘、横手では既に3校に成っているので整備計画の対象外とした。

### 2 小規模校対策 (P6 上段)

二ツ井、五城目、西仙北、雄物川、小坂、十和田、羽後、矢島、雄勝の各高校にあっては3学級もしくは2学級であるが、地域性と教育の機会均等などの理由から、現状のままで存続させる。

### 3 大館地区再編整備計画 (P6 中段)

現在5校あるが学級数5を基準に3校体制に再編するが、大館市からの強い要望に基づいている。

### 4 北秋田地区再編整備計画 (P6 下段)

鷹巣農林, 鷹巣, 米内沢, 市立合川の4校を一校に集約する。冬季オリンピックで活躍した高橋大斗君の事を含め, 普通学級3, 体育学級1の四学級にする。

### 5 能代地区再編整備計画 (P7 上段)

能代, 能代北, 市立能代商業, 能代工業, 能代西の5校を3校に再編する。この地区の特徴は, 県が問題意識を持って対応を始める前に、能代市自身が問題認識し検討を始めていた事である。

### 6 大仙仙北地域再編整備計画 (P7 中段)

角館高校と角館南高校の統合を検討しているが, 両者共にOB会から強い反対があり, 着陸点が見つからない状態である。

### 7 湯沢雄勝地域再編計画 (P7 下段)

羽後, 雄勝, 湯沢稲川分校を湯沢, 湯沢北, 湯沢商校の3校に吸収再編する事で湯沢市との合意が図られている。

### 8 女子校の共学化 (P8 上段)

全県に7校ある女子校を全て共学化するのが基本。由利は19年度, 横手城南は20年度, 秋田北は21年度から共学化する計画である。

### 9 中高一貫教育の推進 (P8 中段)

6年間のゆとりの中で生徒の個性や創造力を伸ばす事を狙い, 16年度に横手清陵学院, 17年度に大館国際情報学院が開校した。すばらしい施設と教育環境にある。

ただし、私立の中高一貫教育と違い, 各種の制限事項に厳しい面もあり, これからの課題になりそうである。

### 10 定時制課程及び通信制課程の改善と整備

17年4月に約50億円を費やし秋田明德館高校が創設された。現在約1000人の生徒が通っている。

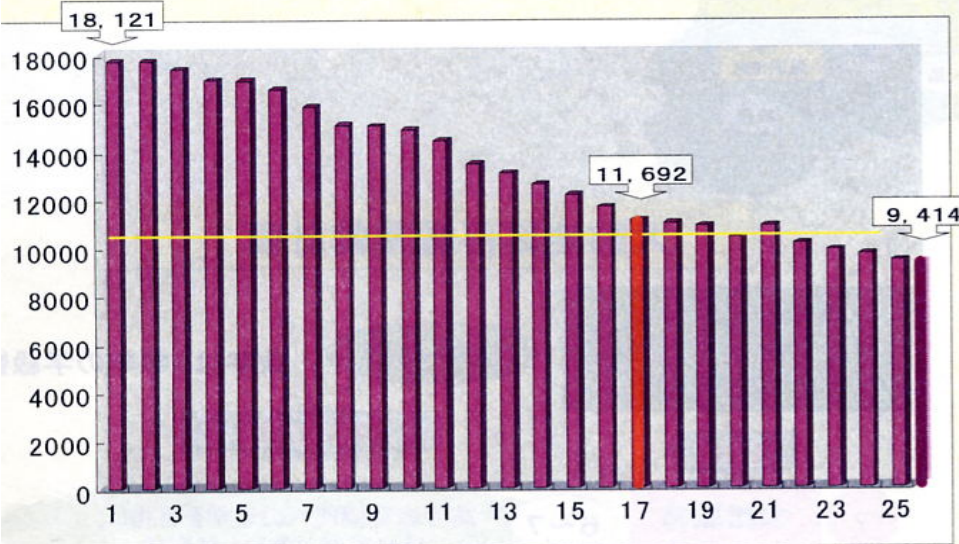
榎 副幹事長

以上

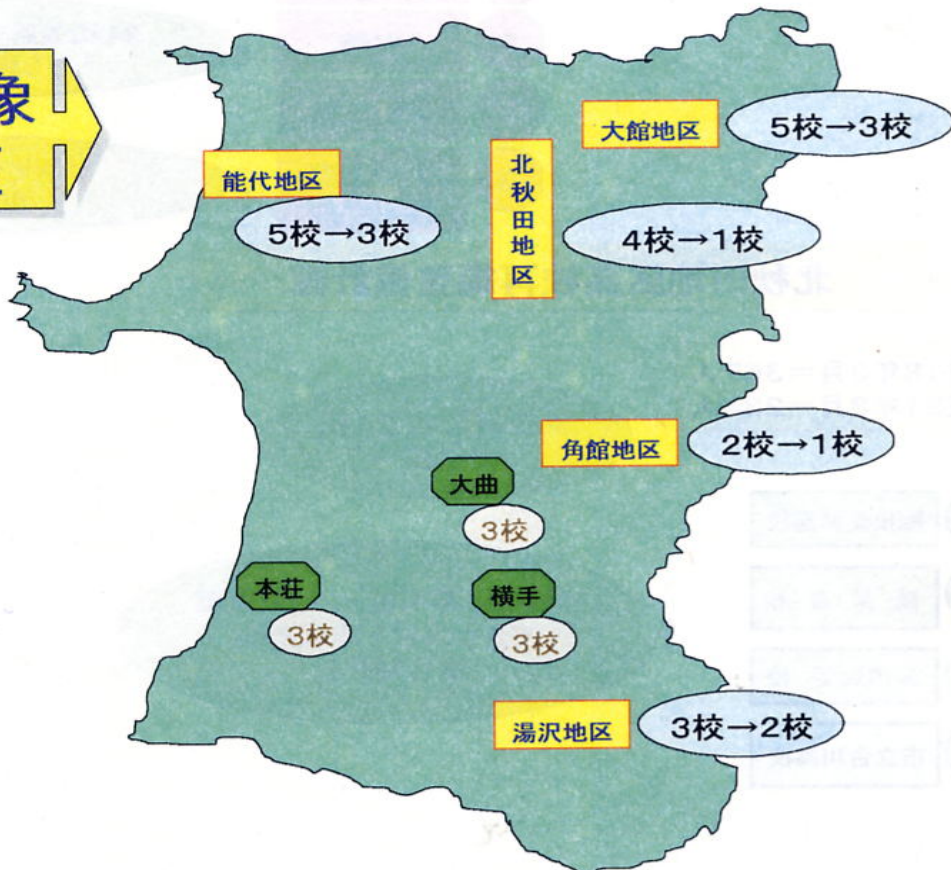
# 秋田県高等学校再編整備計画について

在京秋田県高等学校同窓会連合会全体総会  
平成18年7月12日

## 全県の中学校卒業生数と将来予測



統合対象  
5地区





統合対象  
5地区

小規模校



### 大館地区再編整備計画

中学校卒業生数  
平成18年3月788人  
平成31年3月581人

5校→3校

数字は1学年の学級数

現在校

将来構想校

現在校	将来構想校
7 大館鳳鳴	6~7 高等教育機関への進学を目指し、社会貢献できる人材育成
3 大館桂	6 多様な進路実現と、地域貢献できる人材を育成する総合制高校
3 大館	
4 大館工業	5 国際化・情報化社会対応の中高一貫教育校
5 大館国際情報学院	

### 北秋田地区高校再編整備計画

平成18年3月=367人  
平成31年3月=234人

県立3校、市立1校  
→1校

- ③ 鷹巣農林高校
- ③ 鷹巣高校
- ② 米内沢高校
- ③ 市立合川高校

6

多様な進路実現と、地域貢献  
できる人材を育成する  
総合制高校

[戻る](#)



## 能代地区高校再編整備計画

平成18年3月=886人  
平成31年3月=637人

県立4校、市立1校 → 3校

⑥ 能代高校

⑥ 高等教育機関への進学を目指し、  
社会貢献できる人材育成

④ 能代北高校

⑤ 市立  
能代商業高校

⑥ 多様な進路実現と、国際感覚  
豊富な実業人を育成

⑤ 能代工業高校

③ 能代西高校

⑤ 地域産業に貢献できるものづくりを  
担う人材を育成する総合制高校

## 大仙仙北地域高校再編整備計画

中学校卒業生数  
平成18年3月=1,468人  
平成31年3月=985人

⑤ 角館高校

③ 角館南高校

**角館地区統合**  
観光と伝統文化を  
尊重した多様な  
進路対応可能校

③ 西仙北高校

① 大農太田分校

⑤ 大曲農業高校

⑦ 大曲高校

④ 大曲工業高校

② 秋田修英高校

④ 六郷高校

## 湯沢雄勝地域高校再編整備計画

平成18年3月=851人  
平成31年3月=485人

⑥ 湯沢高校

④ 湯沢北高校

④ 湯沢商工高校

**湯沢地区統合**  
多様な進路実現と  
地域貢献ができる  
人材育成

③ 羽後高校

① 湯沢稲川分校

③ 雄勝高校



## 女子校の共学化

### 一回本荘由利地区吹奏楽祭



- 地区により普通科の男女募集枠がアンバランス
- 教育課程にも男女差がほとんどなくなっている
- 男女共同参画社会の到来

全県7校

全て共学化を図る

## 中高一貫教育の推進



16開校

横手  
清学院

17開校

大館  
報国学院

秋田市  
予定

### 教育効果

- ・併設型を生かした特色ある学校
- ・6年間のゆとりの中で生徒の個性や創造力を伸ばす

## 定時制の課程及び通信制の課程の改善と整備

### 定時制・通信制の将来構想

- ① 学校の統合 (秋田東に、秋田工業・秋田中央を統合)  
→ 秋田明德館高等学校 (17・4月)
- ② 多部制の拡大 (大館地区・横手地区)
- ③ 通信制課程の協力校の設置  
→ 大館地区・横手地区

教育・福祉複合施設「明德館ビル」



秋田明德館高校

